

研究機関：広島大学

研究課題名	自己免疫性肝疾患における臍部 CT での体幹筋評価による予測指標の検討
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 総合診療医学 教授 田妻 進
研究期間	2018年2月26日(倫理委員会承認後)～ 2020年3月31日
対象者	<p>2008年9月から2017年11月の間に、広島大学病院 総合内科・総合診療科で原発性胆汁性胆管炎 (PBC)、原発性硬化性胆管炎 (PSC)、自己免疫性肝炎 (AIH) のいずれかと診断され、診療を受けられた患者さん。</p> <p>また、2016年1月～2017年9月の期間に当科を受診し、腹部 CT 検査を受けられた患者さん。</p>
意義・目的	<p>近年、脂質や蛋白などの代謝に関わる臓器として、肝臓と骨格筋の関連性が注目されており、非アルコール性脂肪肝 (NAFLD) においては肝病変の進行度と筋肉の質の値 (IMAC) が相関するという研究結果が発表されています。また、消化器外科領域でも筋肉量や筋肉の質の差異が、術後経過にちがいを生む因子になることが報告されています。このように、脂質や蛋白などの代謝に関わる臓器として肝臓と骨格筋の関連性が注目されています。</p> <p>当科で多く診療している自己免疫性肝疾患 (PBC、PSC、AIH) に関しては、未だ同様の検討はされておらず、明確な評価指標を用いた研究もほとんどないため、肝疾患と筋肉の関係性を解明することで、自己免疫性肝疾患の評価や進行予防につながると考え、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録 (カルテ) 情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、肝疾患名、その他の主な疾患名、過去の血液検査値 (AST、ALT、血小板数)、過去の腹部 CT 画像データ、CT 施行日、疾患の転帰 です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 総合内科・総合診療科 教授 田妻 進
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5461 広島大学病院 総合内科・総合診療科 菊地</p>